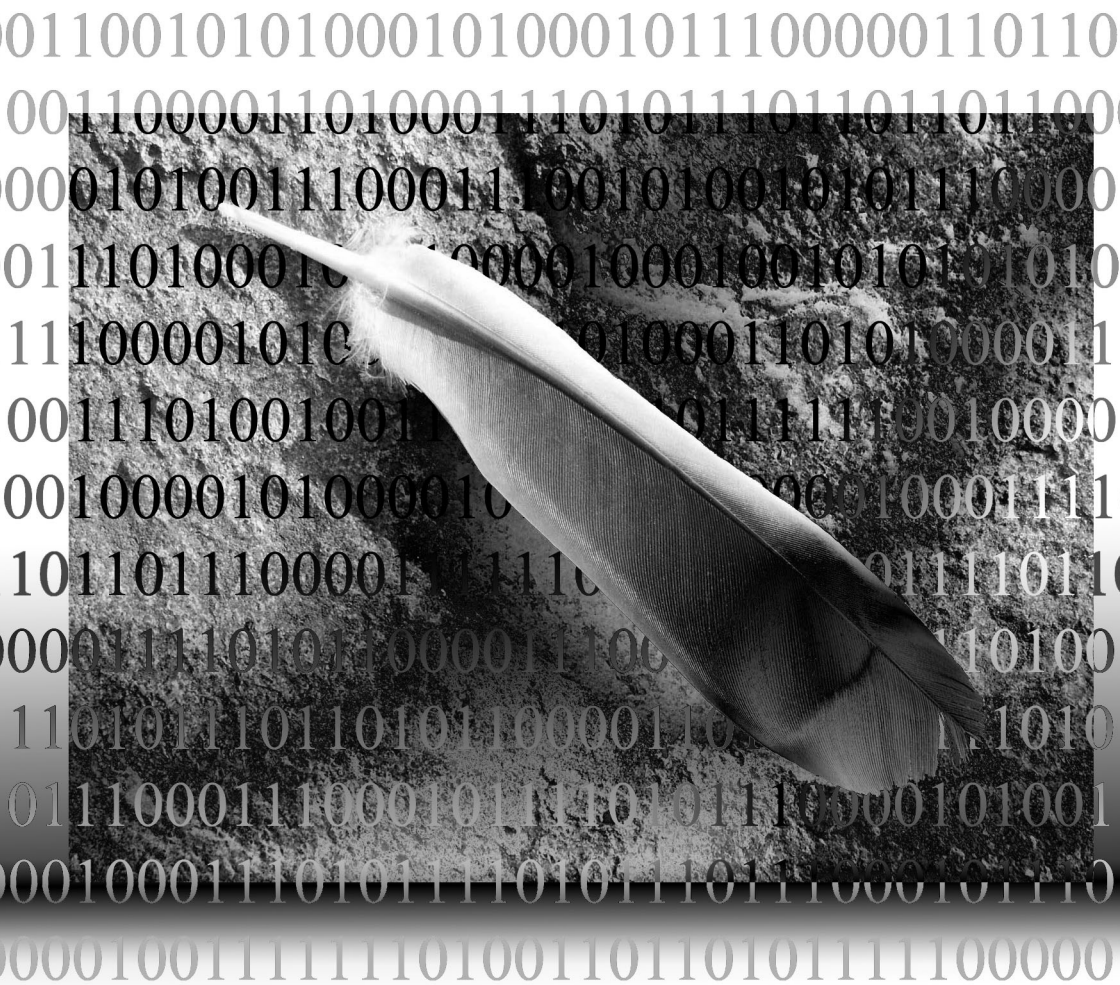
The essentials of imaging

www.minolta.com

DiMAGE Scan Elite 5400

はじめに

お買い上げありがとうございます。
ミノルタ ディマージュ スキャン エリート 5400は、解像度5400dpiの高画質、A/D変換16bitによる豊かな階調、フィルムの傷・ほこり補正機能(Digital ICE)、フィルムの粒状の荒さをやわらげる粒状軽減機能、自動画像補正機能(Pixel Polish)などを備えた高画質・高機能のフィルムスキャナです。また、高品質なメタルボディには、マニュアルフォーカスダイアルや、押すだけで使いたいアプリケーションソフトを立ち上げることができるクイックスキャンボタンなどを備えて使い勝手の良さを追求しています。ご使用前に、この使用説明書をよくお読みいただき、末永くこの製品をご愛用ください。

本製品の使用説明書の構成

本製品には次の使用説明書が付属しています。

DiMAGE Scan Elite 5400 使用説明書
スキャナ本体の設置、使用方法を説明しています。

DiMAGE Scan 使用説明書
スキャナを操作するために必要なソフトウェアのインストール方法、使用方法を説明しています。

重要！ ソフトウェアのインストールは、スキャナとパーソナルコンピュータを接続する前に行ってください。スキャナを先に接続すると、パソコンに正しく認識されません。

本書の表記について

- 本書は、パーソナルコンピュータの基本的な操作方法、および、Windows98/98SE/2000 Professional/Me/XP、Mac OSなどのOS(=オペレーティングシステム)については説明していません。これらについては、お使いのパーソナルコンピュータに付属のマニュアル等をご覧ください。
- 本書は、お使いのパーソナルコンピュータにOSやドライバソフト(本製品を操作するために必要なソフトウェア)など必要なソフトウェアがすでにインストールされ、かつ正常に動作していることを前提に記述しています。
- 本書では、主にWindows版ドライバソフトの画面表示にて説明しています。Windows版とMacintosh版では、その画面表示にはほとんど差はありません。Macintosh版に特有の画面表示についてはその都度説明します。
- 本書はマウス操作を基本として説明しています。Windowsの2ボタンマウスについては「右きき用」に設定しているものとして説明しています。またWindowsの2ボタンマウスにおいて「クリックします」「ダブルクリックします」と表記してある場合、それはマウスの「左ボタン」をクリックまたはダブルクリックすることを表します。「ドラッグします」と表記してある場合は、「マウスの左ボタンを押したままマウスを動かす」操作を示しています。右ボタンをクリックする操作のときは、その都度表記します。
- Macintoshにおいて、Command(コマンド)キーとは、スペースキーの近くの、キーボード上に ⌘ が描かれているキーのことです。

目次

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
使用説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

本製品を使って複製する場合、次の点にご注意ください。
- 紙幣、貨幣、有価証券の複製は違法となり、処罰の対象となります。
- 各種の証明書、免許書、旅券、公文書、私文書の複製も法律で禁止されており、処罰の対象となります。
- 他人の著作物は個人的または家庭内、その他これらに準じて限られた範囲内において使用することを目的とする場合以外、著作権者の承認を得て複製してください。

正しく安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は、正しく安全に製品をお使いいただくために、またあなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。よく理解して正しく安全にお使いください。

 警告　この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 注意　この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が予想される内容を示しています。

絵表示の例

 △記号は、注意を促す内容があることを告げるものです。(左図の場合は感電注意)

警告

本製品は国内家庭用電源100ボルト、50/60ヘルツ用です。それ以外の電圧や周波数では使用しないでください。

火災や感電の原因となります。

ACアダプターは、専用品を表示された電源電圧で正しくお使いください。
表示以外の電源電圧を使用すると、火災や感電の原因となります。

ご自分で分解、修理、改造をしないでください。
内部には高圧部分があり、触れると感電の原因となります。修理や分解が必要な場合は、弊社アフターサービス窓口またはお買い求めの販売店にご依頼ください。

落下や損傷により内部が露出した場合は、内部には触れないで電源プラグをコンセントから抜き、使用を中止してください。
感電、火傷、火災の原因となります。弊社アフターサービス窓口またはお買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

製品および付属品を、幼児・子供の手の届く範囲に放置しないでください。
幼児・子供の近くでご使用になる場合は、細心の注意をはらってください。ケガや事故の原因となります。

濡れた手で本製品の操作やコード類の抜き差しはしないでください。また水の入ったコップ等を近くに置いたりしないでください。内部に水が入った場合は、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止してください。
使用を続けると、火災や感電の原因となります。裏表紙記載の弊社フォトサポートセンターにご相談ください。

本製品の開口部(フィルムホルダ挿入口)から内部に手や燃えやすいものを差し込んだり、クリップやホッチキスの針等の金属類を落としたりしないでください。
ケガや感電、火災の原因となります。万一金属類や異物が内部に入った場合は、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、裏表紙記載の弊社フォトサポートセンターにご相談ください。

アルコールやシンナーなどの引火性溶剤の近くでの使用や、本製品付近での可燃性スプレーの使用は避けてください。またお手入れの際に、アルコール、ベンジン、シンナー等の引火性溶剤は使用しないでください。
爆発や火災の原因となります。

⚠ 警告

電源コードに重いものを乗せたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、傷つけたり、加熱、破損および加工したりしないでください。またコンセントから抜くときは、アダプター本体を持って抜いてください。
コードが傷むと火災や感電の原因となります。コードが傷んだら、弊社アフターサービス窓口またはお買い求めの販売店に交換をご依頼ください。

万一使用中に高熱、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、火傷に注意しながらすみやかに電源プラグをコンセントから抜き、使用を中止してください。
使用を続けると感電、火傷、火災の原因となります。弊社アフターサービス窓口またはお買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

⚠ 注意

本製品を横倒しや仰向けの状態で使用しないでください。
機械が加熱して火災の原因となります。

以下のような場所での本製品の使用、保管、放置は避けてください。

・湿気やホコリの多い場所
・直射日光の当たる場所
・火気の近くや高温になる場所
・通風口をふさぐ場所や、油煙が当たる場所
・ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所
故障、火災、ケガの原因となります。

電源プラグは差し込みの奥までしっかりと差し込んでください。
電源プラグが傷ついていたり、差し込みがゆるい場合は使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ACアダプターを布や布団で覆ったり、周りに物を置いたりしないでください。
熱により変形して感電や火災の原因となったり、非常時にアダプターが抜けなくなったりします。

お手入れの際や長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災や感電の原因となります。

1年に1度程度、電源コードに傷みがないことを確認するとともに、プラグの刃と刃の間を清掃してください。
ホコリがたまると火災の原因となります。

システム環境

ドライバソフトをお使いのパーソナルコンピュータに組み込んで使用する前に、以下のシステム環境を備えているかご確認ください。
ここに記載されている情報は、2003年4月時点のものです。最新の情報については、弊社ホームページでご確認ください。→http://www.photo.minolta.co.jp/

	Windows	Macintosh
CPU*1	Pentium166MHz以上	PowerPC G3以上
OS	USB : Windows 98, 98SE, Me, 2000 Professinal, XP IEEE1394 : Windows Me, 2000 Professinal, XP	USB : Mac OS 8.6〜9.2.2, Mac OS X v10.1.3〜10.1.5,10.2.1〜10.2.3 FireWire : Mac OS 8.6*2〜9.2.2, 10.2.1〜10.2.3
必要メモリ*1	128MB以上の実装メモリ	内蔵メモリの空き容量として128MB以上(アプリケーション、OSに必要なメモリを除く)
ハードディスク*1	600MB 以上	
モニタ	1024x768ドット以上を推奨 800x600ドットでも使用可能 カラー : 16bit High Color以上	1024x768ドット以上を推奨 800x600ドットでも使用可能 カラー : 32.000色以上
CD-ROMドライブ	ソフトウェアインストール時に必要	
インターフェイス	IEEE1394/USB(2.0/1.1)	FireWire/USB1.1
推奨IEEE1394ボード*3,4	パソコンに標準装備されたOHCI準拠のIEEE1394ボード*5 アダプテックジャパン(株) AFW-4300 ラトックシステム(株) REX-PFW4H (株)メルコ IFC-ILP4	パソコンに標準装備されたFireWireポート
推奨USBボード*6	パソコンに標準装備されたUSBポート アダプテックジャパン(株) USB2 Connect 3100 USB2 Connect 5100 Duo Connect ラトックシステム(株) REX-PCIU3, REX-PCIU4 (株)メルコ IFC-USB2P4, IFC-USB2P5	パソコンに標準装備されたUSBポート
Twainドライバ(Plug-inモジュール)使用時の動作確認済み画像処理アプリケーション*7	Photoshop 6.0.1/7.0.1 Photoshop Elements 2.0 Paint Shop Pro 7.0 Corel PHOTO-PAINT 11.0 (以上、すべて日本語版のみ)	Photoshop 6.0.1/7.0.1 Photoshop Elements 2.0 (以上、すべて日本語版のみ)

*1 OSの推奨環境を満たしていることを前提としています。16bit取り込み、Pixel Polishをお使いの場合については、下記をご覧ください。
*2 Mac OS 8.6で、本製品をFireWireで接続する場合、アップルコンピュータ社が提供する「FireWire機能拡張 Ver.2.2〜Ver.2.3.3」が必要となります。詳細につきましては同社のホームページをご覧ください。http://www.apple.co.jp
*3 パソコン標準装備のIEEE1394(FireWire)ポートの場合、お使いのOS環境において IEEE1394(FireWire)ポートがパソコンメーカーによって動作保証されていることが必要です。詳細はパソコンメーカーにお問い合わせください。
*4 左記記載の推奨IEEE1394ボード以外での動作保証はいたしかねますので、ご了承ください。またこの動作保証とは、記載のボードとの組み合わせで本製品が動作することを示します。ボードそのもの、ボードに起因する場合の保証はいたしかねます。また、左記以外のボード、自作機及びショップブランドでの動作に関しては、本書裏表紙に記載のフォトサポートセンターにお問い合わせください。
*5 DV専用のポートを除きます。
*6 お使いのOS環境においてUSBポートがパソコンメーカーによって動作保証されていることが必要です。詳細はパソコンメーカーにお問い合わせください。
*7 お使いのOS環境において各製品のメーカーに動作保証されていることが必要です。詳細は各製品のメーカーにお問い合わせください

●記載の他社製品(OS、インターフェイスボード、アプリケーションなど)相互の互換性、組み合わせについては、それぞれの製品の取扱説明書やメーカーにてご確認願います。
●本ソフトウェアは、日本語OS上での動作が前提になっています。日本語以外のOS上、または、日本語表示を可能にする言語モジュール類を組み込んだ日本語以外のOS上での動作に関してはサポートいたしかねます。
●RAM DOUBLERなどのメモリ管理機能拡張には対応しておりませんので、ご使用にならないでください。
●OSのシステムスタンバイで時間設定している場合(Windows)やスリープ機能をONにしている場合(Macintosh)、システムスタンバイやスリープ復帰後のドライバソフト操作時にエラーやフリーズなどの不具合が発生することがあります。OSのシステムスタンバイ設定なし(Windows)、またはスリープ機能をOFF(Macintosh)にしてご使用ください。

16bit取り込み/Pixel Polishをお使いの場合の動作環境

これらの画像補正機能を十分に活用いただくために必要な最低動作環境と推奨動作環境は以下のとおりです。

Windows	最低動作環境			推奨動作環境		
	CPU	メモリ	HDD 空き容量	CPU	メモリ	HDD 空き容量
16bit取り込み	Pentium166MHz以上	128MB	約1.2GB	Pentium II 以上	256MB	約2GB
8bit取り込み Pixel Polish をON	Pentium166MHz以上	256MB	約1.2GB	Pentium III 以上	512MB	約2GB
Macintosh						
16bit取り込み	Power PC G3 以上	128MB	約1.2GB	Power PC G4 以上	256MB	約2GB
8bit取り込み Pixel Polish をON	Power PC G3 以上	256MB	約1.2GB	Power PC G4 以上	512MB	約2GB

●Macintoshのメモリとは、OSやアプリケーションに必要なメモリを除いた内蔵メモリの空き容量です。
●Mac OS 8.6〜9.2.2で、PhotoshopからPlug-inとして標準スキャンユーティリティを起動して Pixel Polishをお使いになる場合は、Photoshopの推奨サイズに上記最低動作環境に必要なメモリを足して割り当ててください。

内容物の確認／ユーザー登録のご案内

内容物の確認

お買い上げのパッケージに梱包されているのは以下の通りです。ご確認の上、不備な点がございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

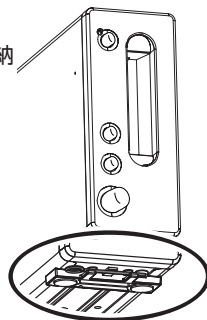
スキャナ本体
35mmフィルムホルダ　FH-M10
スライドマウントホルダ　SH-M10
USBケーブル　UC-2　　必ず本付属品をお使いください。
IEEE1394 ケーブル　FC-2　　必ず本付属品をお使いください。
ACアダプター　AC-U25　　フェライトコア(コードに装着している円柱形のもの)を外さないでください。
スタンド　ST-M10
リセットツール　RT-M10　　下記のようにスキャナ本体の裏側に収納してください。
CD-ROM　2枚(DiMAGE Scan、Adobe Photoshop Elements 2.0)
使用説明書(本書)
DiMAGE Scan(ソフトウェア)使用説明書
保証書

ユーザー登録のご案内

本製品をご使用になる前に、ユーザー登録をお済ませください。ご登録いただいた方は、正規ユーザー様として、本製品に関する今後のサポートを受けることができます。また、バージョンアップのご案内、当社関連商品のご紹介などをさせていただきます。ユーザー登録のアドレスは次の通りです。
http://www.photo.minolta.co.jp/

※登録いただいた内容については、統計処理にて、正規ユーザー様へのサービス向上や今後の製品開発での貴重なご意見として活用する他、ご希望の方には製品情報等のメールサービスを予定しております。なおご回答の内容でご迷惑をおかけすることはございません。

リセットツールの収納

リセットツールは、フロントドアが閉じない場合(→P.21)に使用します。お使いにならない時は、紛失を防ぐために、スキャナ本体の裏側の前足の部分に収納することができます。

各部の名称／スキャナスタンドの取り付け

各部の名称

インジケーターランプ
点灯　各種スキャンできます。
ゆっくり点滅
動作中(セットアップ中、スキャン中、ローディング中など)
早い点滅　エラー→P.20
消灯　電源が切れています。

フロントドア
ここからフィルムホルダを挿入します。→P.15

USBポート
USBケーブルを接続します。→P.12

IEEE1394(FireWire)ポート
IEEE1394(FireWire)ケーブルを接続します。→P.12

電源スイッチ
→P.11

フロントドアリセットホール
万一フロントドアが閉まらなくなったら専用ツールを差し込んでここを押します。→P.21

クイックスキャンボタン
ボタンを押すだけで使いたいアプリケーションソフトを起動することができます。→P.15

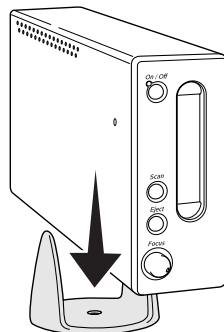
イジェクトボタン
このボタンを押すと、ホルダの取り出しができます。→P.15,18

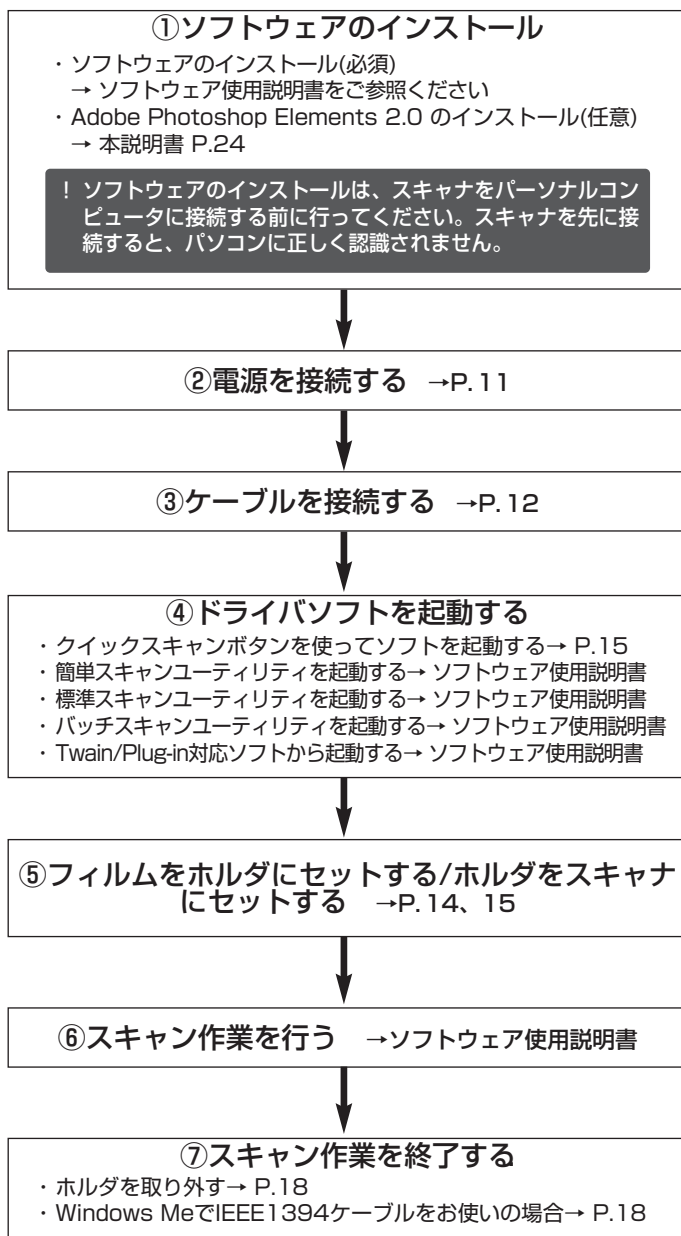
DC電源入力端子
ACアダプターの出力プラグを接続します。→P.11

マニュアルフォーカスダイアル
手動でフォーカス調整を行えます→P.16
手動でフォーカス調整する時以外は、ダイアルを回さないでください。

ご注意
- スキャナを使用しない場合は、必ず電源スイッチを切ってください。ゴミやホコリ等の侵入を防ぐため、スキャナからホルダを取り外し、フロントドアが閉じた状態で保管してください。
- 本体の清掃には洗剤やアルコールは使用しないでください。またフロントドアの中にブラシを入れたり、エアーブラシなどを使用しないでください。
- スキャン中、手や周辺の物がホルダに当たらないようにしてください。正確なピント合わせが行えなくなります。

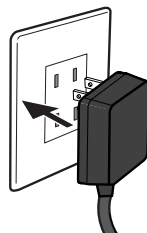
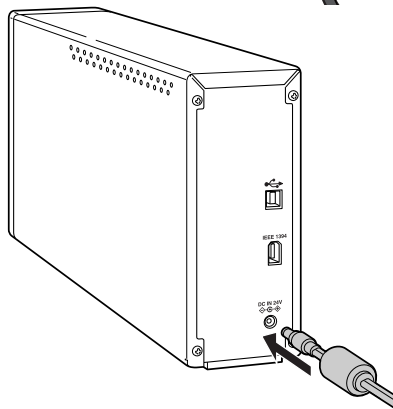
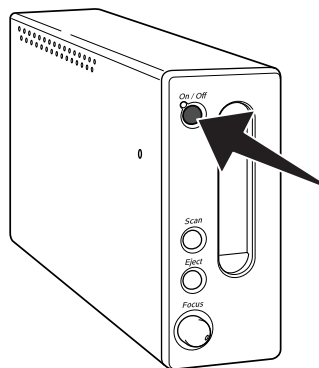
スキャナスタンドの取り付け

スキャナ本体の転倒防止のため、スキャナスタンドのご使用をおすすめします。下記のように取り付けます。
●スキャナ本体底面のゴム足の下にはスキャナスタンドを取り付けないでください。

操作の流れ

次のような手順で、本製品を使用します。
本説明書では、主にスキャナ本体に関する使用方法を、別冊のソフトウェア使用説明書では、ソフトウェアに関する使用方法を説明しています。

スキャナの設置

● スキャナは水平で安定した場所に設置してください。また、直射日光を避け、ホコリや湿度が少なく、通気の良い場所に設置して下さい。

電源の接続

1 コンセントの電圧がAC100Vであることを確認し、コンセントにACアダプターを接続します。

2 ACアダプターのプラグをスキャナ本体の背面にあるDC電源入力端子に接続します。
●外れないように奥まで確実に差し込みます。

3 電源を入れる時は､本体前面の電源スイッチを押します。
●インジケーターランプが点滅し始めます。

ケーブルの接続

スキャナ本体とコンピュータを接続するには、USBケーブルまたはIEEE1394(FireWire)ケーブルを使います。

重要！ パーソナルコンピュータにドライバソフトをインストールするまでは、パーソナルコンピュータとスキャナを接続しないでください。ドライバソフトをインストールする前に接続すると、スキャナが正しく認識されません。ドライバソフトのインストール方法はソフトウェア使用説明書を参照してください。

- コンピュータの電源を入れてOS(WindowsまたはMac OS)が起動するまでの間は、ケーブルを抜き差ししないでください。正しく動作しなくなる場合があります。
- ケーブルを抜き差しするときは、5秒以上の間隔をあけてください。
- ハブを介して接続すると、ハブの種類や接続する機種によっては正常に動作しない場合があります。コンピュータとスキャナを直接接続することをおすすめします。

IEEE1394(FireWire)ケーブル

下記の場合にIEEE1394(FireWire)を使ってスキャナと接続することができます。

Windows

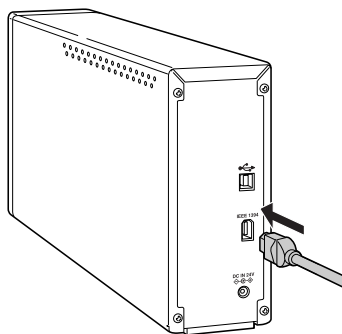
OHCI準拠のIEEE1394端子が標準装備されたコンピュータか推奨IEEE1394ボード(P.6)で、OSがWindows Me/2000 Professional/XPの場合

Macintosh

FireWire端子が標準装備されたコンピュータでMac OS 8.6〜9.2.2、10.2.1〜10.2.3の場合

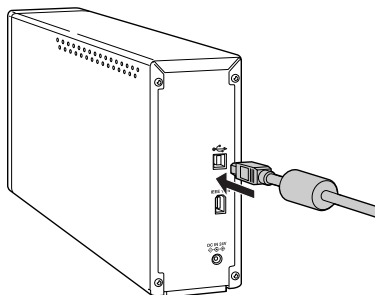
- Mac OS 8.6で、FireWireを使って接続する場合、アップルコンピュータ社が提供する「FireWire機能拡張 Ver.2.2〜Ver.2.3.3」が必要となります。詳細につきましては同社のホームページをご覧ください。http://www.apple.co.jp
- 本製品をMac OS X 10.1.3〜10.1.5環境でご使用になる場合は、FireWire接続では使用できません。USB接続でご使用ください。

IEEE1394(FireWire)ケーブルの両端を、スキャナ本体背面のIEEE1394(FireWire)ポートとコンピュータのIEEE1394(FireWire)ポートにそれぞれ接続します。

- IEEE1394(FireWire)ケーブルは奥まで確実に差し込んでください。

USBケーブル

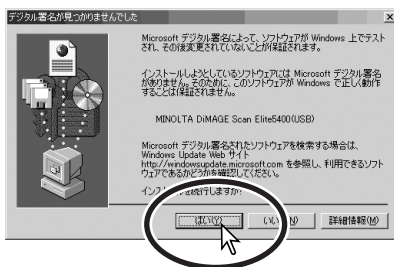
1 USBケーブルのBコネクタを本体背面のUSBポートに接続します。

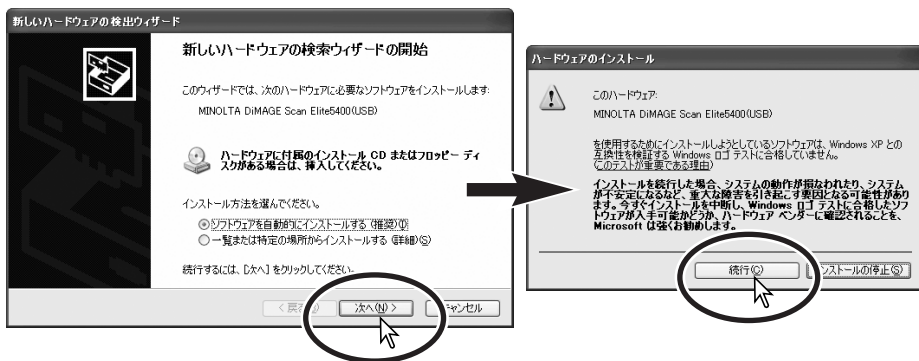
2 USBケーブルのAコネクタをコンピュータのUSBポートに接続します。

- USBケーブルは奥まで確実に差し込んでください。

スキャナの登録(Windows 2000/ XP)

Windows 2000およびXPでは、スキャナ本体とコンピュータを初めて接続した時、「新しいハードウェアの検出」のメッセージが出ますので、スキャナの登録を行います。

Windows2000の場合

新しいハードウェアの検索ウィザードが表示され、すぐに消えますので、お待ちください。
「デジタル署名がみつかりませんでした。...インストールを続行しますか？」の画面が出ますので、[はい(Y)]をクリックします。

WindowsXPの場合

「新しいハードウェアの検索ウィザード」の開始が表示されますので、[次へ(N)]をクリックします。
「...Windowsロゴテストに合格していません。...」の画面が出ますが、そのまま[続行(C)]をクリックします。

●インストール画面が表示されますので、しばらくお待ちください。
●このまま引き続きスキャナを使用できます。この「新しいハードウェアの検出」は、初めてこのスキャナを使用するときだけ表示されます。次回からは表示されません。

フィルムをホルダにセットする

フィルムをホルダにはめ込みます。フィルムの形式に対応したホルダを使用します。

ゴミ、ほこりなどはフィルムを傷つける恐れがありますので、ホルダにセットする前に、ブロアなどで取り除いてください。

35mmスリーブフィルムのセット

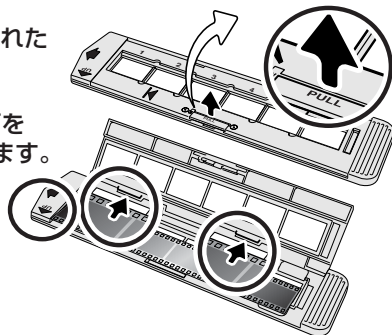
35mmスリーブフィルムとは、何枚かつながった状態のフィルムを指します。
「35mmフィルムホルダFH-M10」を使用します。1度に最高6コマつづきのスリーブをセットできます。

1 フィルムホルダのフィルムカバーの「PULL」と書かれたつまみを持ち上げ、フィルムカバーを開けます。

2 フィルムのコマ番号が正しく見える方を上(=乳剤面を下)にして、フィルム押さえ(2カ所)の下に差し込みます。

- 横向きの画像の場合、マウントの上下の向きをホルダ端の「UP」と書いた表示と逆にセットすると、スキャン後画像の向きを直す必要がありません。
- フィルムホルダの画枠にフィルムの位置を合わせます。

3 フィルムホルダを閉じます。

- フィルムカバーを確実に閉じてください。

スライドマウントフィルムのセット

スライドマウントフィルムとは、1コマ1コマ枠にはめ込まれたフィルムを指します。「スライドマウントホルダSH-M10」では35㎜のスライドマウントフィルムを使用できます。

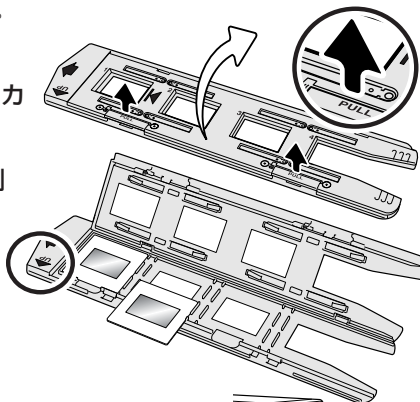
- スライドマウントホルダには、1度に最高4コマをセットすることができます。
- 使用できるマウントの厚みは1.0～3.2㎜です。ガラス付きのマウントは使用できません。
- ホルダにマウントを長期間入れたままにしないでください。

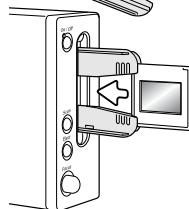
1 スライドマウントホルダのフィルムカバーの「PULL」と書かれたつまみを持ち上げ、フィルムカバーを開けます。

2 フィルムのコマ番号が正しく見える方を上(=乳剤面を下)にして、横方向にスライドマウントホルダにセットします。

- 横向きの画像の場合、マウントの上下の向きをホルダ端の「UP」と書いた表示と逆にセットすると、スキャン後画像の向きを直す必要がありません。
- スライドマウントホルダの画枠にスライドの位置を合わせます。
- 縦長方向には挿入しないでください。

3 スライドマウントホルダを閉じます。

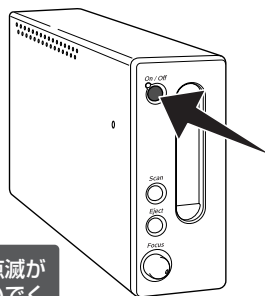
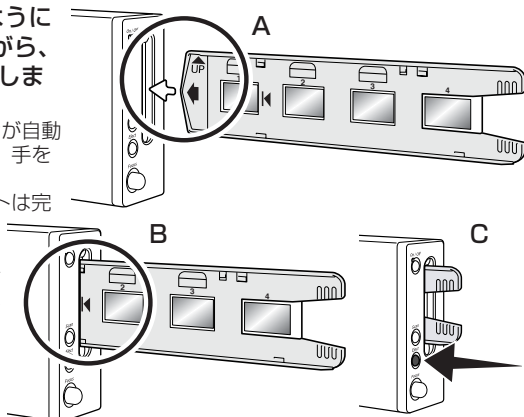
- フィルムカバーを確実に閉じてください。

4コマ目の画枠は、フィルムカバーを閉めたままでマウントを差し換えることができます。また、スキャナ本体にスライドマウントホルダをセットしたままでも差し換えることができます(右図)。この場合は、必ずプレビュースキャンを行ってから、本スキャンを行ってください。

- ホルダを強く押したりして、ホルダの位置がずれないように気をつけてください。正しいピント合わせができなくなることがあります。

ホルダをスキャナにセットする/クイックスキャンボタン

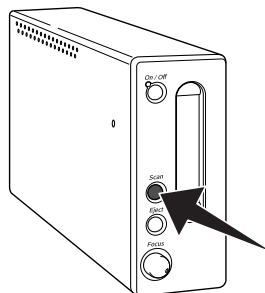
ホルダをスキャナにセットする

1 スキャナ本体とコンピュータの電源を入れます。
- ●インジケーターランプが点滅します。

2 アプリケーションソフトを立ち上げます。
- ●スキャナのセットアップが完了すると、インジケーターランプの点滅が点灯に変わります。
- ●アプリケーションソフトの立ち上げ方法については、下記「クイックスキャンボタン」またはソフトウェア使用説明書をご参照ください。

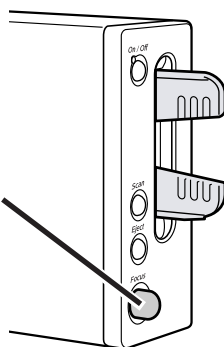
> ! スキャナ本体のセットアップが完了して、インジケーターランプの点滅が点灯に変わるまでは、フロントドアを開けたり、ホルダを挿入しないでください。

3 ホルダを、「UP」の表示が上側になるようにして(右図A)、フロントドアに当てながら、矢印の方向にゆっくりまっすぐに挿入します。
- ●当たるところ(右図B)までくると、スキャナが自動的にホルダを少し中まで引き込みますので、手を離してください。
- ●ホルダが少し中まで送り込まれたら、セットは完了です。
- ●ホルダを取り出す場合は、イジェクトボタンを押します(右図C)。イジェクトボタンを押すと挿入開始位置(右図B)まで自動的にホルダが戻ってきますので、ホルダが完全に止まったことを確認して抜き取ります。

> ! 正しいピント合わせを行うために、挿入したホルダには、取り出す時以外触らないでください。また、周囲の物がホルダに当たらないようにしてください。
> ! ホルダをスキャナから取り出す時は、無理に引き抜かずに、P.18の手順に従ってください。

クイックスキャンボタン

スキャナ本体とコンピュータの電源が入っていれば、クイックスキャンボタンを押すだけで、使いたいアプリケーションソフトを起動することができます。
- ●初期設定では、DiMAGE Scan Launcherが起動します。DiMAGE Scan Launcherは、次回クイックスキャンボタンを押した時に起動するアプリケーションソフトを選択することができます。
- ●バッチスキャンユーティリティを、クイックスキャンボタンで起動するアプリケーションソフトに指定しておくと、クイックスキャンボタンを押すだけで、連続スキャンを開始します。
- ●詳しくは、ソフトウェア使用説明書をご覧ください。

マニュアルフォーカスダイアル

マニュアルフォーカスを使うと、プレビュー画像の任意の部分に手動でピント合わせを行うことができます。通常、マニュアルフォーカスやAFを行わなくても、ほぼピントの合ったスキャン画像を得ることができますが、マニュアルフォーカスやAFを行うと、より正確にピントの合ったスキャン画像を得ることができます。また、フィルムがカールしているなどにより、ピントがずれている場合にも有効です。

このスキャナでは、スキャナ前面にあるマニュアルフォーカスダイアルを手動で操作してピント合わせを行うことができます。

- ●コンピュータ画面上のフォーカス位置設定スライダーをマウスカーソルで移動させてピント合わせを行うこともできます。この操作については、ソフトウェア使用説明書をご覧ください。

! マニュアルフォーカスダイアルを使ってピント合わせを行うとき以外は、マニュアルフォーカスダイアルを動かさないでください。ピントがずれる場合があります。

1 標準スキャンユーティリティを立ち上げて、ピントを合わせたい画像を選択してプレビュースキャンを行います。

- ●標準スキャンユーティリティの立ち上げ方、画像の選択方法、プレビュースキャンの方法については、ソフトウェア使用説明書をご覧ください。

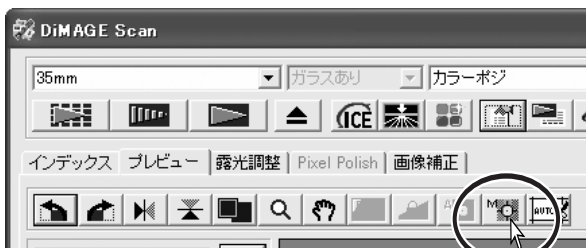
2 メインウィンドウにある環境設定ボタンをクリックします。

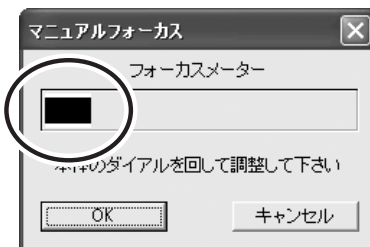
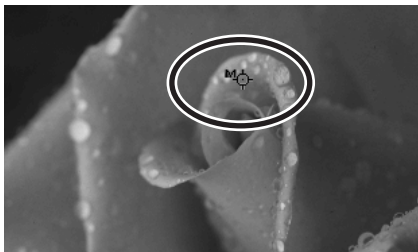
- ●環境設定ウィンドウが表示されます。

3「マニュアルフォーカスダイアル」をクリックして選択します

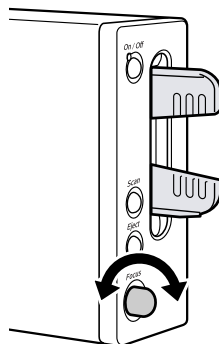
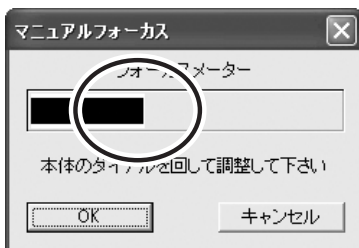
- ●「マニュアルフォーカスダイアル」を選択すると、「スキャン時のAF」の選択は無効になります。

4 プレビュータブにあるマニュアルフォーカスボタンをクリックします。

- ●マウスポインタが、マニュアルフォーカスのものに変わります。
- ●もう一度マニュアルフォーカスボタンをクリックすると、マウスポインタはもとの形状に戻ります。

5 プレビュー画像のピントを合わせたいところに、マウスポインタの十文字の中心を合わせ、クリックします。

●コントラスト(明暗の差)のある部分でピント合わせを行ってください。コントラストがないと適切にピント合わせできない場合があります。
●マニュアルフォーカスのダイアログが現れます。測定が始まると、黒色バーと白色バー(フォーカスメーター)が現れます。

6 マニュアルフォーカスダイアルを左右に回転させて、フォーカスメーターの黒色バーと白色バーの長さが最も長くなるように調整します。

●黒色のバーは現在のフォーカス評価値を、白色のバーはこれまでの最大の評価値を示しています。

> ! マニュアルフォーカスダイアルを動かすと、ホルダも連動して左右に動きます。手や周囲の物がホルダに当たっていると、正確なピント合わせができませんのでご注意ください。

7 [OK]をクリックします。

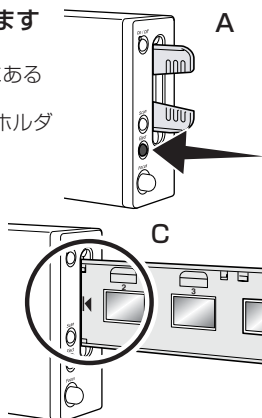
●[OK]をクリックすると、調整したピント位置で改めてプレビュースキャンが行われます。[キャンセル]をクリックすると、プレビュースキャンは行われませんが、調整したピント位置は保持されます。
●調整したピントは、以下のいずれかの操作をするまで保持されます。
・今度マニュアルフォーカスダイアルを操作するまで
・環境設定でスキャン時のAFを選択して、改めてスキャンするまで
・ホルダをスキャナ本体から取り出すまで

スキャン作業の終了

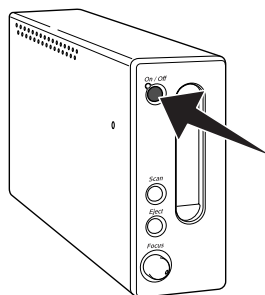
スキャン作業を終える時は、以下の手順で行います。
●パソコンを再起動させる場合は、以下の作業を行ってから再起動を行ってください。

> ！ホルダを挿入したまま、スキャナの電源を切った場合
> もう一度電源を入れると、ホルダが自動的に排出されます。ホルダを無理に引き抜かないでください。

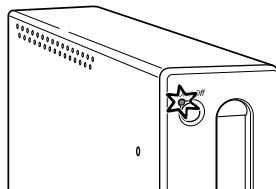
A

1 スキャナ正面のイジェクトボタンを押して、ホルダを取り出します(右図A)。
- ●標準スキャンユーティリティを起動している場合は、メインウィンドウにあるイジェクトボタンからでも操作できます(下図B)。
- ●ホルダは自動的に取り出し可能位置まで戻ります(右図C)ので、それまでホルダには触らず、ホルダが完全に停止したことを確認してから取り出します。

2 アプリケーションソフトが起動している場合は終了させせます。

3 Windows MeでIEEE1394ケーブルをお使いの場合以外は、スキャナの電源を切ります。
- ●お手入れの際や長期間ご使用にならない時は、電源プラグを必ず抜いてください。

> Windows MeでIEEE1394ケーブルをお使いの場合
> ！コンピュータの電源を切ってから、スキャナの電源を切ってください。手順が守られないと、Windows Me 終了ウィンドウで「Windows保護エラーです。コンピュータを再起動してください。システムが停止しました。」というメッセージが表示され、コンピュータがハングアップします。

コンピュータとスキャナの電源を入れたままケーブルを取り外す場合(Windows MeでIEEE1394ケーブルをお使いの場合を除く)

1 先にアプリケーションソフトを終了してください。

2 スキャナ本体のインジケータランプが点灯になっていることを確認してください。

2 本スキャナ以外に、IEEE1394またはUSBケーブルでコンピュータに機器が接続されている場合は、これらの機器すべてが動作中でないことを確認してください。

3 ケーブルを外します。

不具合が生じた時は

本製品を使用中、不具合が生じた時は、以下の項目をチェックしてみてください。
それでも直らない場合は、裏表紙に記載のフォトサポートセンターにご連絡ください。
P.27の情報をお手元にご用意いただいてからお問い合わせいただきますと、状況が早く正確に把握できますので、迅速な回答・原因究明の助けとなります。

＊下記表の「頁」欄に「S」と書いている場合は、ソフトウェア使用説明書をご覧ください。

症　状	処置方法	頁
アプリケーションソフトを起動すると、「スキャナの接続が確認できませんでした。スキャナの接続を確認してください。」と表示される。	スキャナの電源が入っていないか、IEEE1394(FireWire)ケーブルまたはUSBケーブルが確実に接続されていません。確認した上で、表示内の[OK]をクリックします。	11 12
インジケーターランプがすばやく点滅する。	ユーティリティソフトやTwain/Plug-inを起動してください。それでも解決しない場合は、スキャナの電源を切って、再起動してください。	11 S
ドライバソフトが動かなくなる。 スキャン速度が遅い。	スキャナの電源を切り、コンピュータとスキャナを再起動してください。 Photoshopをご利用の場合、一度終了して、メモリの割り当てを増やし、再起動してください。	11 S
カラーネガをスキャンしたら色調がおかしい。	フィルムタイプがカラーネガになっていることを確かめ、スキャンし直してください。 画像補正をしてみてください。 それでも解決しない場合は、ドライバソフトを再インストールしてください。	S
画像が鮮明でない。	環境設定で「スキャン時のAF」を選択、またはポイントAFあるいはマニュアルフォーカスを使ってみてください。	S
画像が真っ黒や真っ白になる、横すじが入る、カラーバランスがくずれるなど異常な画像があらわれる。	ホルダを取り外し、フロントドアを閉じます。その後、Windowsの場合はCtrlキー、Shiftキー、Iキーを、Macintoshの場合はCommandキー、Shiftキー、Iキー同時に押し、スキャナを初期化してください。	18
Pixel Polish使用時に、画像が真っ黒になったり、「メモリーが足りません。Pixel Polish処理に失敗しました。処理を中断します。」の表示がでる。	Windows Me / 2000 Professional XP をご使用の場合は仮想メモリを、Mac8.6～9.2.2をご使用の場合は最大未使用ブロックを増やしてください。	S
スキャン中に「ホームポジションを検出できません」の警告がでる。	プレビューおよび本スキャン中にフィルムホルダに無理な力が加わった可能性があります。スキャナの電源を切って、再起動してください。	11
スキャナがセットアップを行わない。	フロントドアが閉まっているかどうか確認してください。フロントドアが開いていて閉じない状態では、左記の動作を行うことができません。P.21の説明に従って、フロントドアをリセットして(閉めて)ください。	9 21
ホルダがスキャナの中に引き込まれない(ホルダがスキャナにセットできない)。		
クイックスキャンボタンを押しても、アプリケーションソフトが起動しない。		
マニュアルフォーカスダイアルを動かしても、ピントが変わらない。	環境設定で「マニュアルフォーカスダイアル」を選択しないと、フォーカスダイアルを動かしてもピント合わせはできません。	16
オートフォーカスができない。	環境設定で「マニュアルフォーカスダイアル」を選択していると、オートフォーカスは行われません。	16

Windowsコンピュータで、ソフトウェアをインストールする前に、スキャナをコンピュータに接続・電源を入れてしまった場合

スキャナのドライバソフトをインストールする前に、Windowsコンピュータとスキャナを接続・電源を入れると、その後インストールを行ってもコンピュータがスキャナを正しく認識しない場合があります。下記の手順を行ってください。

スキャナがコンピュータに正しく認識されているか確認する

1 デスクトップの[マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ(R)]を選択します。
  Windows XPの場合は、[スタート]→[コントロールパネル(C)]を選択し、コントロールパネルウィンドウ内の[システム]アイコンをダブルクリックします。
2 [システムのプロパティ]画面が表示されますので、画面上の[デバイスマネージャ]タブをクリックします。
  Windows XP/2000 Professionalの場合は、[システムのプロパティ]画面の[ハードウェア]タブをクリックし、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。
3 スキャナが正しく認識されている場合は、[イメージングデバイス]の一覧に、[MINOLTA DiMAGE Scan Elite5400(USB)]または[MINOLTA DiMAGE Scan Elite5400(1394)]と表示されます。[イメージングデバイス]の左が[+]マークになっている場合は、その[+]マークをクリックすると、イメージングデバイスの一覧が表示されます。

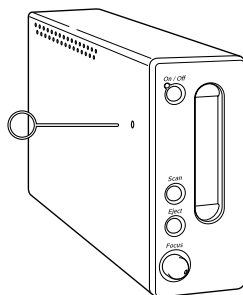
スキャナが正しく認識されていない場合

1 スキャナがコンピュータに正しく認識されていなかった場合は、[その他のデバイス]の一覧に[MINOLTA DiMAGE Scan Elite5400]または[MINOLTA DS_Elite5400 IEEE 1394 SBP2 Device]と表示されていますので、クリックして選択します。
2 [デバイスマネージャ]ウィンドウ内の[削除(E)]をクリックします。
  Windows XP/2000 Professionalの場合は、[操作(A)]ドロップダウンメニューから[削除(U)]を選びます。
3 [デバイス削除の確認]画面が表示されますので、画面上の[OK]をクリックします。
4 コンピュータを再起動します。
  再起動後に上記の手順で、スキャナが正しく認識されているかどうか確認してください。

インストール後初めてスキャナを接続すると、Windows XPでは、新しいハードウェアの検索のウィザードが表示されますので、[次へ(N)>]をクリックします。「...Windowsロゴテストに合格していません。...」の画面が表示されますが、そのまま[続行(C)]をクリックします。Windows 2000 Professionalでは、起動時に「デジタル署名が見つかりませんでした。...インストールを続行しますか？」という画面が表示される場合があります。この場合は、画面上の[はい(Y)]をクリックします。→P.13

フロントドアが閉じない場合

スキャナのセットアップ中にフロントドアを開けてしまうと、開いたまま閉じなくなり、スキャナはその後の操作を受け付けません。下記の方法でフロントドアを閉じてください。

1 スキャナ底面からリセットツールを取り外します。→P.8
2 スキャナ側面のフロントドアリセットホールに、リセットツールを差し込んで、軽く押します。
  フロントドアが閉まり、スキャナはその後の操作を受け付けるようになります。

主な性能

使用原稿	35mmフィルム(カラー/白黒、ネガ/ポジ)
撮像素子	RGB3ラインCCD(5300画素/1ライン)
光学解像度	最大5400dpi
走査方式	原稿駆動式センサ固定1パススキャン方式
A/D変換	16 bit(RGB各色)
スキャナ出力	16/8 bit(RGB各色)
ダイナミックレンジ	3.8
光源	3波長蛍光管(冷陰極管)　ユーザー交換不可
フォーカス	オートフォーカス、ポイントオートフォーカス、マニュアルフォーカス
その他	粒状軽減機能、フィルムの傷･ほこり補正機能(Digital ICE)、 自動画像補正機能(Pixel Polish)、押すだけで使いたいアプリケーション ソフトを立ち上げられるクイックスキャンボタン、バッチスキャン
インターフェース	IEEE1394(FireWire)(6pX1) USB2.0(Bコネクターx1)　USB1.1互換
使用電源	ACアダプターAC-U25 入力電圧：100～120V、50/60Hz　　出力電圧：DC24V
最大消費電力	30W　＊エネルギースター対応
寸法	65(W)×165(H)×360(D) mm
質量(重さ)	約2.5kg
使用環境	温度10～35℃　湿度15～85%　結露なきこと
保管環境	温度ー20～60℃湿度10～85%　結露なきこと
最大読み取りサイズ	35mmフィルム 24.61×36.69mm　　5232×7800画素

読み取り時間

	Windows		Macintosh
	USB2.0	IEEE1394	FireWire
インデックススキャン(4コマ)	約15秒	約15秒	約16秒
プレビュースキャン	約10秒	約10秒	約12秒
本スキャン(ウィンドウに画像が出るまで)	約60秒	約68秒	約69秒

読み取り時間の測定環境

	Windows	Macintosh
CPU	Pentium 4/ 2.53GHz	Power PC G4
OS	Windows XP Professional	Mac OS X 10.2.1
RAM	1GB	1GB
ハードディスク空き容量	60.9GB	70.72GB
USB	内蔵USB2.0	
IEEE1394(FireWire)	(株)メルコ　IFC-ILP4	内蔵FireWire
アプリケーション	Photoshop 7.0.1	Photoshop 7.0.1
アプリケーションへのメモリ割り当て	80%	739MB

※ 使用環境によって読み取り時間は変わります。
※ ポジフィルムをスキャンして測定。ネガフィルムの場合は、ポジフィルムより長くなります。
※ すべての画像補正機能OFF。
※ 解像度5400dpi設定時
※ トリミングなしの全画面スキャン、AE: OFF、取り込みモード; 8bit、カラーマッチング: OFF

●本書に記載の性能および外観は、都合により予告なく変更することがあります。

ジョブファイルリスト

セットアッププログラム(インストーラ)の指示通りにソフトウェアをインストールした場合、ジョブファイルは以下のフォルダにカテゴリー別のフォルダとして収められています。

Windows(起動ハードディスクをCドライブとします)：[C:]→[Program Files]フォルダ→[DiMAGEScan]フォルダ→[DS_Elite5400]フォルダ→[Job]フォルダ
Macintosh(Mac OS 8.6～9.x)：[起動ディスクのシステムフォルダ]→[初期設定]フォルダ→[DiMAGE Scan]フォルダ→[DS Elite5400]フォルダ→[Job]フォルダ
Macintosh(Mac OS X)：[/(root)]→[Users]フォルダ→[(ログオンユーザー名のフォルダ)]→[Library]フォルダ →[Preferences]フォルダ→[DiMAGE Scan]フォルダ→[DS Elite5400]フォルダ→[Job]フォルダ

カテゴリ	ジョブ名	入力	出力	倍率	単位	入力サイズ		入力	出力 サイズ		出力
		解像度	解像度			W	H	ロック	W	H	ロック
初期設定	初期設定	1350	300	450	pixel	1950	1308	OFF	1950	1308	OFF
カラーレーザープリンタ	A4用紙全体	5120	600	853	mm	34.82	24.62	OFF	297	210	ON
	A4用紙2分の1	3609	600	601	mm	34.94	24.63	OFF	210	148	ON
	A4用紙4分の1	2560	600	426	mm	34.74	24.65	OFF	148	105	ON
	レター用紙全体	5264	600	877	inch	1.24	0.97	OFF	10.9	8.5	ON
	レター用紙2分の1	3531	600	588	inch	1.45	0.93	OFF	8.5	5.45	ON
	レター用紙4分の1	2632	600	438	inch	1.24	0.97	OFF	5.45	4.25	ON
デジタル銀塩プリンタ	A3用紙全体	4828	400	1207	mm	34.8	24.61	OFF	420	297	ON
	A4用紙全体	3414	400	853	mm	34.82	24.62	OFF	297	210	ON
	A5用紙全体	2405	400	601	mm	34.94	24.63	OFF	210	148	ON
	レター用紙全体	3510	400	877	inch	1.24	0.97	OFF	10.9	8.5	ON
	レター用紙2分の1	2354	400	588	inch	1.45	0.93	OFF	8.5	5.45	ON
	レター用紙4分の1	1755	400	438	inch	1.24	0.97	OFF	5.45	4.25	ON
	8x10	3303	400	825	inch	1.21	0.97	OFF	10	8	ON
	大四切	4535	400	1133	mm	31.42	24.62	OFF	356	279	ON
	四切	4129	400	1032	mm	29.55	24.61	OFF	305	254	ON
	キャビネ	1902	400	475	mm	35.37	24.63	OFF	168	117	ON
	写真プリント(2L)	2065	400	516	mm	34.5	24.61	OFF	178	127	ON
	PostCard4x6	1662	400	415	inch	1.45	0.96	OFF	6	4	ON
インクジェット＆昇華型プリンタ	A2用紙全体	5120	300	1706	mm	34.82	24.62	OFF	594	420	ON
	A3ノビ	4010	300	1336	mm	36.15	24.63	OFF	483	329	ON
	A3用紙全体	3620	300	1206	mm	34.83	24.63	OFF	420	297	ON
	A4用紙全体	2560	300	853	mm	34.82	24.62	OFF	297	210	ON
	A4用紙2分の1	1805	300	601	mm	34.94	24.63	OFF	210	148	ON
	A4用紙4分の1	1280	300	426	mm	34.74	24.65	OFF	148	105	ON
	レター用紙全体	2632	300	877	inch	1.24	0.97	OFF	10.9	8.5	ON
	レター用紙2分の1	1766	300	588	inch	1.45	0.93	OFF	8.5	5.45	ON
	レター用紙4分の1	1316	300	438	inch	1.24	0.97	OFF	5.45	4.25	ON
	はがき全面	1219	300	406	mm	36.45	24.63	OFF	148	100	ON
	写真プリント（KG）	1227	300	409	mm	36.67	24.45	OFF	150	100	ON
	写真プリント（L）	1085	300	361	mm	35.18	24.65	OFF	127	89	ON
ホームページ	1240x836	863	72	1198	pixel	1240	836	OFF	1240	836	ON
	1112x750	775	72	1076	pixel	1112	750	OFF	1112	750	ON
	984x663	685	72	951	pixel	984	663	OFF	984	663	ON
	792x534	552	72	766	pixel	792	534	OFF	792	534	ON
	760x512	529	72	734	pixel	760	512	OFF	760	512	ON
	600x404	417	72	579	pixel	600	404	OFF	600	404	ON
	320x240	338	72	469	pixel	320	240	OFF	320	240	ON
PhotoCD	PhotoCD2048x3072	2127	300	709	pixel	3072	2048	OFF	3072	2048	ON
	PhotoCD1024x1536	1064	300	354	pixel	1536	1024	OFF	1536	1024	ON
	PhotoCD512x768	532	300	177	pixel	768	512	OFF	768	512	ON
画面で見る	1920x1200	1330	72	1847	pixel	1920	1200	OFF	1920	1200	ON
	1600x1200	1239	72	1720	pixel	1600	1200	OFF	1600	1200	ON
	1280x1024	1057	72	1468	pixel	1280	1024	OFF	1280	1024	ON
	1280x960	991	72	1376	pixel	1280	960	OFF	1280	960	ON
	1152x870	898	72	1247	pixel	1152	870	OFF	1152	870	ON
	1024x768	793	72	1101	pixel	1024	768	OFF	1024	768	ON
	832x624	645	72	895	pixel	832	624	OFF	832	624	ON
	800x600	620	72	861	pixel	800	600	OFF	800	600	ON
	640x480	496	72	688	pixel	640	480	OFF	640	480	ON
文書へ貼り付け	A4用紙2分の1	433	72	601	mm	34.94	24.63	OFF	210	148	ON
	A4用紙4分の1	338	72	469	mm	31.56	22.39	OFF	148	105	ON
	A4用紙8分の1	338	72	469	mm	22.39	15.78	OFF	105	74	ON
	レター用紙2分の1	424	72	588	inch	1.45	0.93	OFF	8.5	5.45	ON
	レター用紙4分の1	338	72	469	inch	1.16	0.91	OFF	5.45	4.25	ON
	レター用紙8分の1	338	72	469	inch	0.91	0.58	OFF	4.25	2.72	ON
フィルムレコーダ	4K	2836	2400	118	pixel	4096	2731	OFF	4096	2731	ON
	2K	1418	2400	59	pixel	2048	1365	OFF	2048	1365	ON
簡単スキャンユーティリティ	画面に表示(小)	496	72	688	pixel	640	480	OFF	640	480	ON
	画面に表示(大)	793	72	1101	pixel	1024	768	OFF	1024	768	ON
	印刷サイズ:A3	3620	300	1206	mm	34.83	24.63	OFF	420	297	ON
	印刷サイズ:A4	2560	300	853	mm	34.82	24.62	OFF	297	210	ON
	印刷サイズ:はがき	1219	300	406	mm	36.45	24.63	OFF	148	100	ON
	印刷サイズ:L版	1085	300	361	mm	35.18	24.65	OFF	127	89	ON
	ホームページに使う	417	72	579	pixel	600	404	OFF	600	404	ON
	ワープロ文書に貼る	338	72	469	mm	31.56	22.39	OFF	148	105	ON
	メールに添付する	374	72	519	pixel	540	360	OFF	540	360	ON
	最高解像度で保存する	5400	400	1350	pixel	7800	5232	OFF	7800	5232	OFF

Adobe Photoshop Elements 2.0 のインストール(任意)

ここでは同梱されているAdobe Photoshop Elements 2.0 のインストール方法をご説明します。
必要に応じてインストールしてください。
本製品は専用アプリケーションソフトを単独で起動して使用できるほか、Twain/Plug-in対応画像処理アプリケーションソフトから専用アプリケーションソフトを起動させることができます*。後者の方法では、スキャンした画像を、そのまま続けて画像処理アプリケーションソフトで画像処理することができます。同梱されているAdobe Photoshop Elements 2.0 は、Twain/Plug-in対応画像処理アプリケーションソフトです。
＊標準スキャンユーティリティで可能です。簡単スキャンユーティリティ、バッチスキャンユーティリティではご利用になれません。

必要システム構成(Windows)

- Intel Pentium III または4 クラスプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
- Microsoft Windows 98日本語版、Windows 98 Second Edition日本語版、Windows Me日本語版、Windows 2000(Service Pack 2)日本語版、Windows XP日本語版
- Internet Explorer 5.0、5.5 または6.0 (それぞれ適切なService Packでアップデートされたもの)
- 128MB以上のRAM
- 350MB以上の空き容量のあるハードディスク(仮想ディスクには大容量のハードディスク推奨)
- 16 ビット以上のカラー表示が可能なディスプレイ、ビデオカード
- 800 × 600 以上の画面解像度をサポートするディスプレイ
- CD-ROMドライブ

必要システム構成(Macintosh)

- PowerPC G3、G4、またはG4 デュアルプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
- Mac OS 9.1、9.2 日本語版、Mac OS X v10.1.3 から10.1.5 日本語版
- 128MB以上のRAM(仮想メモリをオンにした状態)
- 400MB以上の空き容量のあるハードディスク(仮想ディスクには大容量のハードディスク推奨)
- 16 ビット以上のカラー表示が可能なディスプレイ、ビデオカード
- 800 × 600 以上の画面解像度をサポートするディスプレイ(1024 × 768 以上推奨)
- CD-ROMドライブ

●インストール時にはシリアル番号を入力する必要があります。インストールの途中でシリアル番号の入力欄が表示されたときは、CD-ROMケースの外側にシールで貼られた24桁の番号を、正確に、すべて半角で入力してください。

Windows

1 Adobe Photoshop Elements 2.0 CD を CD-ROM ドライブに挿入します。

2 「次へ」をクリックしてエンドユーザ使用許諾契約書を読んで、承諾する場合は「承諾する」を、承諾しない場合は「承諾しない」をクリックします。
●「承諾しない」をクリックすると、インストールは中断され、セットアップされないで終了します。

3 「Adobe Photoshop Elements 2.0」をクリックして Photoshop Elements インストーラを開始します。
●後は画面の指示に従ってインストール作業を行ってください。

●CD が自動的に起動しなかった場合は、Windows の「スタート」ボタンをクリックし、メニューから「エクスプローラ」を選択し、Adobe Photoshop Elements フォルダの「Setup.exe」をダブルクリックします。

Macintosh

1 Adobe Photoshop Elements 2.0 CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
●デスクトップにAdobe Photoshop ElementsのCD-ROMのアイコンがマウントされます。

2 デスクトップ上の CD のアイコンをダブルクリックし、Photoshop Elements のインストールアイコンをダブルクリックします。

3「続ける」をクリックします。

4 エンドユーザ使用許諾契約書を読んで、承諾する場合は「承諾する」を、承諾しない場合は「承諾しない」をクリックします。
●「承諾しない」をクリックすると、インストールは中断され、セットアップされないで終了します。
●OS X にインストールしている場合、インストールを完了するには、管理者のユーザ名とパスワードを入力する必要があります。これらの情報を入力し、「OK」をクリックします。
●後は画面の指示に従ってインストール作業を行ってください。

Adobe Photoshop Elementsのユーザ登録について

アドビ製品の情報をいち早く入手するために、ユーザ登録をお勧めします。シリアル番号は、お客様のライセンスを特定する個別の番号で非常に重要なものです。ユーザ登録を行う際には、コピーをするなどしてお客様のシリアル番号の控えを手元に保管、管理していただきますようお願いいたします。ユーザ登録は以下いずれかの方法で行うことができます。

1 同梱されているユーザ登録カードを送付する、またはファクスする(048-226-0035)
2 アドビのホームページから登録する。http://www.adobe.co.jp/store/registration/main.html

ユーザ登録が完了しますと、随時アップグレードセンターから新製品のご案内が届きます。

ユーザ登録に関しては、下記アップグレードセンター(048-226-0040)までお問い合わせください。
アップグレードセンター(バージョンアップ取扱い、ユーザ登録について)
受付時間：10：00－12：00　13：00－17：00(土・日・祝日およびアドビ指定休日を除く)
電話番号：048-226-0040　　ファクス：048-226-0041

上記情報は、アドビの都合により変更される場合があります。適宜、アドビのホームページによりご確認くださいますようお願い申し上げます(本ドキュメントの内容は2002年8月1日現在有効のものです)。

Adobe Photoshop Elements 2.0のサポートについて

本製品にバンドルされておりますアドビ製品のサポートについては、以下をご参照ください。

サポートの内容について

1 インターネット(アドビホームページ)からの技術情報提供

営業時間	年中無休(メンテナンス期間を除く)
サポート料金	無償提供
サポート内容	以下のWebサイトよりサポート、技術情報の検索ができます。 http://www.adobe.co.jp/support/main.html

2 電話による技術支援

営業時間	9：30 - 17：30(土・日・祝日およびアドビ社指定休日を除く)		
サポート料金	有償提供		
サポート内容	インシデント制	1案件あたり	￥4,000(1年間有効・消費税別)
		5案件分まとめて	￥18,000(2年間有効・消費税別)
	年間契約制	1年間	￥29,800より(消費税別)

3 電子メールによる技術支援

営業時間	9：30 - 17：30(土・日・祝日およびアドビ社指定休日を除く)		
サポート料金	有償提供		
サポート内容	インシデント制	1案件あたり	￥4,000(1年間有効・消費税別)
		5案件分まとめて	￥18,000(2年間有効・消費税別)
	年間契約制	1年間	￥29,800より(消費税別)

アドビ有償サポート(Adobe CustomerFirst)契約の申込みについて

受付け時間帯　9：30 - 17：30(土・日・祝日およびアドビ社指定休日を除く)

サポート契約センター電話番号：　0120-535057(フリーダイアル)
03 - 5350 - 8688

サポート契約番号(サポートID)を取得後、テクニカルサポートセンターへ電話を転送させていただきます。なお、混雑時には転送できない場合もございます。テクニカルサポートセンター電話番号、メールアドレスは契約時にご連絡させていただきます。サポートIDがありませんとサポートスタッフまでつながりませんのでご注意ください。アドビのホームページのウエブマスター宛てにメールを送信してもお答えできませんので、ご了承ください。サポートに関する詳細につきましてはホームページ(http://www.adobe.co.jp)をご参照ください。サポート契約センターでもお問合せをお受けしています。

上記情報は、アドビの都合により変更される場合がありますので、適宜、アドビのホームページによりご確認くださいますようお願い申し上げます(本ドキュメントの内容は2002年8月1日現在有効のものです)。

弊社 スキャナ・ソフトウェアのサポートについて

本製品を使用中、不具合が生じた時は、P.20の項目をチェックしてみてください。
それでも直らない場合は、裏表紙に記載のフォトサポートセンターにご連絡ください。
以下の情報をお手元にご用意いただいてからお問い合わせいただきますと、状況が早く正確に把握できますので、迅速な回答・原因究明の助けとなります。

コンピュータの種類
　IBM-PC/AT互換機、NEC PC98-NXシリーズ、Apple Macintoshシリーズ等
コンピュータの型番(名称)
　VAIO、DynaBook、LaVie、Power Mac G4等
オペレーティングシステム(OS)の種類とバージョン
　Windows XP Home Edition、Mac OS X 10.2.3等
メモリ容量
　Windows、Macintosh(MacOS X)では実装メモリ容量、Macintosh(Mac OS8.6～9.2.2)ではOSや他のアプリケーションが使用している領域を除いた空き容量
DiMAGE Scanインストール後のハードディスク容量

DiMAGE Scanのバージョン
　標準スキャンユーティリティのメインウィンドウのステータスバー(右上のメッセージ欄)にマウスを置くと表示されます
お使いの画像処理アプリケーション名/バージョン

お使いの IEEE1394 / USBボード
　標準搭載か、増設か
　増設の場合、メーカー名／型番
接続している周辺機器名のメーカー/モデル

問題発生の頻度(具体的に)
再現性(＝同じ症状が同じ条件でいつも発生しますか？)
状況(どんな状況で、どのような操作をして、どのような症状が発生したか、できるだけ具体的に)

製品の互換性情報や最新版ドライバソフトウェアの提供、よくある質問(FAQ)とその解答などのサポート情報については、弊社フォトイメージングのホームページ http://www.photo.minolta.co.jp をご覧ください。

索引

ミノルタ株式会社

ホームページ

個々の製品の互換性情報や最新版ドライバソフトウェアの提供、よくある質問(FAQ)とその回答などのサポート情報については、以下フォトイメージングのホームページをご覧ください。

http://www.photo.minolta.co.jp/

弊社デジタル製品の商品情報については、以下のホームページをご覧ください。

http://www.dimage.minolta.co.jp/

フォトサポートセンター

弊社製品のカメラ、交換レンズ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、露出計など写真や画像に関わる製品の機能、使い方、撮影方法などのお問い合わせをお受けいたします。

ナビダイヤル 0570-007111

ナビダイヤルは、お客様が日本全国どこからかけても市内通話料金で通話していただけるシステムです。

TEL 03-5351-9410

携帯電話・PHS等をご使用の場合はこちらをご利用ください。

FAX 03-3356-6303

受付時間 10:00～18:00（日・祝日定休）

0 43325 53203 0

9223-2890-61 AV-A304

Printed in Taiwan